

タオル帽子縫い上げる

一針一針に心込めて



能代市落合の山本組合総合病院で6日、フエースタオル1枚で作る帽子の作成講習会「タオル帽子を作る会」が開かれ、参加者らが秋田市を中心にかんサロンやタオル帽子の

能代市落合の山本組合総合病院で6日、フエースタオル1枚で作る帽子の作成講習会「タオル帽子を作る会」が開かれ、参加者らが秋田市を中心にかんサロンやタオル帽子の

能代市落合の山本組合総合病院で6日、フエースタオル1枚で作る帽子の作成講習会「タオル帽子を作る会」が開かれ、参加者らが秋田市を中心にかんサロンやタオル帽子の

能代市落合の山本組合総合病院で6日、フエースタオル1枚で作る帽子の作成講習会「タオル帽子を作る会」が開かれ、参加者らが秋田市を中心にかんサロンやタオル帽子の

能代市落合の山本組合総合病院で6日、フエースタオル1枚で作る帽子の作成講習会「タオル帽子を作る会」が開かれ、参加者らが秋田市を中心にかんサロンやタオル帽子の

能代市落合の山本組合総合病院で6日、フエースタオル1枚で作る帽子の作成講習会「タオル帽子を作る会」が開かれ、参加者らが秋田市を中心にかんサロンやタオル帽子の

能代市落合の山本組合総合病院で6日、フエースタオル1枚で作る帽子の作成講習会「タオル帽子を作る会」が開かれ、参加者らが秋田市を中心にかんサロンやタオル帽子の

講習会を開いている県がん患者団体連絡協議会きぼうの虹と同病院外来化学療法室（大山健一室長）が企画。この日は午前と午後に分かれて行われ、同協議会の会員が講師を務めた。

このうち午前中は患者や夜勤明けの看護師、「知人へ贈りたい」「今後の参考に」といった市民ら約50人が参加した。手順は、1枚のタオルを筒にして端を絞って縫い合わせる

脱毛で悩む人の立場に立ってタオル帽子を作る参加者（能代市の山本組合総合病院で）

という簡単なもの。参加者は会員から「毛が抜けるときはまゆ毛も

脱毛に悩む患者のため

講習会 参加し 市民ら 組合 山本組 総合病院

き、治療のため脱毛に悩む人へ理解を深めながら真剣な表情で針を動かした。

帽子は1時間もいなかいうちに完成。早速かぶって「暖かいもんだね」「夏は日差しを通さなくていいかも」「これなら家でも作れそう」と気に入った様子で、中には「近所の人に贈ろうと思って参加したけど、亡くなったお父さんにも作ってあげたかったな」と涙ぐむ女性の姿もあった。

抜けてしまう。この縫い方ならかぶり方によってはまゆ毛も隠せていいという人もいる「なまゆ毛の思いも聞

同協議会では県内のがん診療連携拠点病院にタオル帽子を寄贈しており、タオルの寄付も受け付けている。寄付希望者は同病院外来化学療法室の野呂江津子さん（☎52・3111）へ。